

EX-G UltimateLaser マウス M-XG3DLBK

ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム EX-G UltimateLaser マウス「M-XG3DLBK」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは「M-XG3DLBK」の操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※このマニュアルでは一部の表記を除いて「M-XG3DLBK」を「本製品」と表記しています。

安全にお使いいただくために

- 絵表示の意味
- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 - 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。
 - 「してはいけない」ことを示します。
 - 「しなければならないこと」を示します。
 - 「注意していただきたいこと」を記載しています。
 - 「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

- 警告** 本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レーザーユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 注意** 本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、やけどに注意した上で、発熱がおさまっていることを十分確認した後で、レーザーユニットをパソコンから取り外し、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 注意** 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。1本 雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- 警告** 本製品を落としたり、ぶつかけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、レーザーユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品の分解や改造、修理などをしないでください。火災や感電、故障の原因になります。故障時の保証の対象外となります。
- 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
- レーザーユニットはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- レーザーユニットは、お子様が誤って飲み込んでしまう危険がありますので、絶対にお子様の手の届かないところに保管してください。

- 注意** 本製品を次のようなところには置かないでください。
 - 日のある自動車内、直射日光のあたるところ
 - 暖房器具の周辺など高温になるところ
 - 多湿なところ、結露をおこすところ
 - 平坦でないところ、振動が発生するところ
 - マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
 - ほこりの多いところ
- 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。1本 雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- パソコン、ゲーム機用のマウス以外の用途には使用しないでください。
- 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
- 1ヶ月以上マウスを使用しない場合は、レーザーユニットをパソコンから取り外してください。
- 本製品および電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

- 電池について**
- 注意** 本製品には単3形アルカリ乾電池、単3形マンガン乾電池、または単3形ニッケル水素2次電池を使用してください。
- 電池を分解しないでください。
- 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

- お手入れのしかた**
- 本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式にはGFSK方式を採用し、干渉距離は10mです。2.4GHz帯は、医療機器やBluetooth®、IEEE802.11b/11g/11n規格の無線LAN機器などでも使用されています。●本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないか確認してください。●万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。 ※「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

- 警告** 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
- 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします
- ※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じて、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

レーザーマウスにおける注意事項

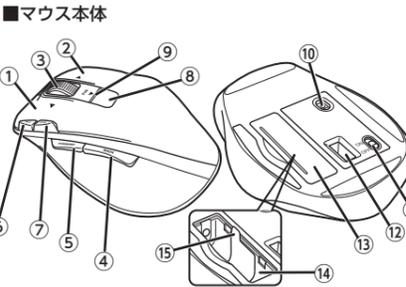
本製品は、JIS C6802及び国際標準化機関IEC60825-1に基づいたCLASS1に準拠し、安全性を確保しておりますが、下記事項に十分注意した上でご使用ください。

- 顕微鏡・虫眼鏡等の光学的手段を用いてレーザー光を観察したり、レーザーを肉眼で長時間覗き込むことは、目に悪影響を及ぼす可能性があるため絶対におやめください。(レーザー光には肉眼で見えないものもあります。)
- マウスの裏面を人の目に向ける事は危険ですのでおやめください。
- レーザーセンサーはガラスや鏡の表面では正常に動作しない場合があります。
- パソコン用マウス以外の用途に使用しないでください。
- 範囲を超えた気温に製品がさらされる場合は、パソコンの電源を切り、気温が範囲内になるまで製品をお使いにならないでください。
- 正常に動作しない場合は、パソコンの電源を切り、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

パッケージ内容の確認

- 本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- マウス本体.....1個
 - レシーバーユニット.....1個
 - 動作確認用単3形アルカリ乾電池.....1本
 - ユーザーズマニュアル(このマニュアルです).....1部

各部の名称とはたらき



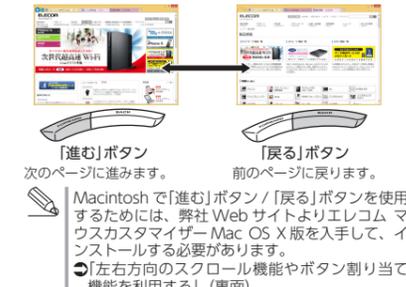
- マウス本体**
- レシーバーユニット**

- 1 左ボタン**
パソコンの操作の左クリックに使います。
- 2 右ボタン**
パソコンの操作の右クリックに使います。
- 3 チルトホイール**
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。チルトホイールを左右に倒すことで左右方向へのスクロールができます。
- 4 「戻る」ボタン / 5 「進む」ボタン**
「進む」ボタン Webブラウザで「進む」の操作ができます。
「戻る」ボタン Webブラウザで「戻る」の操作ができます
- 6 「進む」ボタン**
次のページに進みます。
- 7 「戻る」ボタン**
前のページに戻ります。
- 8 Macintoshで「進む」ボタン / 「戻る」ボタンを使用するためには、弊社Webサイトよりエレコムマウスカスタマイザー Mac OS X版を入手して、インストールする必要があります。**
☞「左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用する」(裏面)
- 9 電池残量表示ランプ**
電源を入(ON)にしたときに一定時間赤色に点灯します。 ※電池残量が少なくなると一定時間赤く点滅します。
- 10 レーザーセンサー**
マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。 ※センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。非可視光線のため肉眼では見えません。
- 11 電源スイッチ**
マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)します。
- 12 レシーバーユニット収納部**
レシーバーユニットを収納します。
- 13 電池カバー**
このカバーを取り外して、電池を入れます。
- 14 電池収納部**
電池を収納します。
- 15 電池取り出しシート**
電池を電池収納部から取り出すときに使います。
- 16 USBコネクタ (オス)**
パソコンのUSBポートに接続します。

使用時の準備

- 電池を入れる / 交換する**
本製品を使用するときは、単3形電池1本をマウス本体に入れます。
- 1 電池カバーを取り外します。**
- 2 電池取り出しシートの表示に合わせて、電池を入れます。**
電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
- 3 電池カバーを元通りに取り付けます。**
- 電池を交換するときは**
- 1 電池カバーを取り外します。**
- 2 電池取り出しシートを使って電池を取り出します。**
- 3 電池取り出しシートの表示に合わせて、電池を入れます。**
電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
- 4 電池カバーを元通りに取り付けます。**

- 電池を交換するときは**
- 1 電池カバーを取り外します。**
- 2 電池取り出しシートを使って電池を取り出します。**
- 3 電池取り出しシートの表示に合わせて、電池を入れます。**
電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
- 4 電池カバーを元通りに取り付けます。**



- 6 7 8 ファンクションボタン 1 ~ 3**
機能割り当てが可能なボタンです。お買い上げの状態では、機能は何も割り当てられていません。
ボタンに機能を割り当てるには、弊社Webサイトよりエレコムマウスカスタマイザー Mac OS X版を入手して、インストールする必要があります。
☞「左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用する」(裏面)
- 9 電池残量表示ランプ**
電源を入(ON)にしたときに一定時間赤色に点灯します。 ※電池残量が少なくなると一定時間赤く点滅します。
- 10 レーザーセンサー**
マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。 ※センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。非可視光線のため肉眼では見えません。
- 11 電源スイッチ**
マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)します。
- 12 レシーバーユニット収納部**
レシーバーユニットを収納します。
- 13 電池カバー**
このカバーを取り外して、電池を入れます。
- 14 電池収納部**
電池を収納します。
- 15 電池取り出しシート**
電池を電池収納部から取り出すときに使います。
- 16 USBコネクタ (オス)**
パソコンのUSBポートに接続します。

- マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)する**
- マウス本体の電源を入れる**
本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。電源スイッチをONの位置にスライドさせます。OFF電池残量表示ランプが、一定時間赤色に点灯します。 ※電池残量が少くないときは、一定時間赤色に点滅します。
- マウス本体の電源を切る**
本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。電源スイッチをOFFの位置にスライドさせます。
- 省電力モードから復帰する**
マウスを動かします。
- 電池の消耗を抑えるため、電源スイッチがONの状態でも操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的に省電力モードに移行します。省電力モードから復帰後2~3秒間はマウス操作が不安定になる場合があります。

- マウス本体の電源を切る**
本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。電源スイッチをOFFの位置にスライドさせます。
- 省電力モードから復帰する**
マウスを動かします。
- 電池の消耗を抑えるため、電源スイッチがONの状態でも操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的に省電力モードに移行します。省電力モードから復帰後2~3秒間はマウス操作が不安定になる場合があります。

- レシーバーユニットを収納する / 取り出す**
- レシーバーユニットを収納する**
- 1 レシーバーユニットをレシーバーユニット収納部に収納します。**
- レシーバーユニットを取り出す**
- 1 レシーバーユニットをレシーバーユニット収納部から取り出します。**

Windows® で使用する

Step1 USBポートを確認する

- お使いのパソコンのUSBポートを確認してください。
- USBポートはどのポートでも使用できません。
 - USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバーユニットを取り付ける

- 1 パソコンを起動します。**
Windows®の起動時にログインするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログインしてください。
Windows®が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。
 - 2 レシーバーユニットをパソコンのUSBポートに挿入します。**
この部分に挿入します。
 - 3 Windows®標準マウスドライバーが自動的にインストールされます。**
- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
 - 挿入時に、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。
 - USBコネクタの端子部には触れないでください。

Macintosh で使用する

Step1 USBポートを確認する

- お使いのパソコンのUSBポートを確認してください。
- USBポートはどのポートでも使用できません。
 - USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバーユニットを取り付ける

- 1 パソコンを起動します。**
Macintoshが起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。
 - 2 レシーバーユニットをMacintoshのUSBポートに挿入します。**
この部分に挿入します。
 - 3 マウスドライバーが自動的にインストールされます。**
- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
 - 差し込みの際、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。
 - USBコネクタの端子部には触れないでください。

Step3 カーソルの速度を変更する

- カーソルの移動速度を調整します。
- 1 「マウス」のプロパティを表示します。**
Windows®8.1、Windows®RT 8.1の場合
1. 画面左下のスタートボタンを右クリックし、[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]の順に選択し、[デバイスとプリンター]内の[マウス]をクリックします。
Windows®8、Windows®RTの場合
1. スタート画面で右クリックし、[すべてのアプリ]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]の順に選択し、[デバイスとプリンター]内の[マウス]をクリックします。
Windows®7の場合
1. [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]の順に選択し、[デバイスとプリンター]内の[マウス]をクリックします。
Windows Vista®の場合
1. [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]を選択し、[ハードウェアとサウンド]内の[マウス]をクリックします。
Windows®XPの場合
1. [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]→[マウス]をクリックします。
 - 2 [ポインター オプション(ポインタ オプション)]タブを選択します。**
 - 3 [ポインターの速度を選択する]のスライダーでマウスカーソルの移動速度を調整します。**
- パソコンの起動中に何度も抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は、パソコンを再起動してください。

レシーバーユニットを取り外す場合

本製品はホットプラグに対応しています。パソコンが起動した状態でもレシーバーユニットを取り外すことができます。

Step3 カーソルの速度を変更する

- カーソルの移動速度を調整します。
- 1 「システム環境設定」の「マウス」をクリックします。「マウス」設定画面が起動します。**
 - 2 「軌跡の速さ」のスライダーを使ってカーソルの速度を調整します。**
 - 3 OS X 10.7 から上下スクロール方向が従来と逆になりました。「スクロールの方向: ナチュラル」のチェックをはずすと、従来通りの上下スクロール方向になります。**
- レシーバーユニットを取り外す場合
本製品はホットプラグに対応しています。パソコンが起動した状態でもレシーバーユニットを取り外すことができます。
- パソコンの起動中に何度も抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は、パソコンを再起動してください。

左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用する

左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用するには、エレコム マウスカスタマイザーをインストールする必要があります。

エレコム マウスカスタマイザーを入手する

エレコム マウスカスタマイザーを入手するには下記の弊社 Web サイトにアクセスし、最新版ドライバをダウンロードして下さい。

<http://www.elecom.co.jp/support/download/peripheral/mouse/customizer/>

※ Windows®RT は、エレコム マウスカスタマイザーに対応していません。

エレコム マウスカスタマイザー Windows® 版をインストールする

- インストールする前に・・・
- 本製品を取り付けておいてください。詳細は、「Step2 レシーバーユニットを取り付ける」(表面)を参照してください。
- 当社・他社のマウスユーティリティソフトがインストールされている場合は、アンインストールを行ってください。
- 管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンしてください。
- すべての Windows® プログラム (アプリケーションソフト) を終了することを推奨します。

※ 以降のインストールプログラム画面は OS によって異なりますが、手順は同じです。

1 ダウンロードした「mouse_custom_xxxx (exe)」をダブルクリックします。
※ ドライバのバージョンによりファイル名称が異なる場合があります。

2 インストーラが起動します。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「はい」または「続行」をクリックします。

3 **OK** をクリックします。

他のマウスユーティリティがインストールされている場合は、「キャンセル」をクリックしてアンインストールを行ってください。

エレコム マウスアシスタントがインストールされている場合は、画面に従って、アンインストールを行ってください。

4 **次へ(N) >** をクリックします。

5 Windows® 8 以降をお使いの場合は、中ボタンのショートカットキーの設定画面が表示されます。ドロップボックスで選択して、「次へ(N) >」をクリックします。

6 **インストール** をクリックします。

インストールが完了したら、「再起動」をクリックして、Macintosh を再起動します。

これでエレコム マウスカスタマイザー Mac OS X 版のインストールは完了です。

再起動後、マウスの設定ができます。タスクトレイまたは通知領域のアイコンを右クリックして「設定画面を開く」をクリックします。

※ Windows®8.1、Windows®8、Windows®7 で通知領域に  が表示されている場合は、「設定画面を開く」アイコンを右クリックし、「設定画面を開く」をクリックします。

設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

再起動後、マウスの設定ができます。タスクトレイまたは通知領域のアイコンを右クリックして「設定画面を開く」をクリックします。

設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

7 **OK** をクリックします。インストールを開始します。

8 **OK** をクリックします。

9 インストールが終了したら、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」をチェックして、「完了」をクリックします。パソコンを再起動します。

これでエレコム マウスカスタマイザー Windows® 版のインストールは完了です。

再起動後、マウスの設定ができます。タスクトレイまたは通知領域のアイコンを右クリックして「設定画面を開く」をクリックします。

※ Windows®8.1、Windows®8、Windows®7 で通知領域に  が表示されている場合は、「設定画面を開く」アイコンを右クリックし、「設定画面を開く」をクリックします。

設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

3 **続ける** をクリックします。

エレコム マウスアシスタントがインストールされている場合は、「キャンセル」または「閉じる」をクリックしてアンインストールを行ってください。

4 **続ける** をクリックします。

5 **インストール** をクリックします。

6 管理者のユーザー名とパスワードを入力して、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。

Mac OS X 10.6.x、OS X 10.7.x の場合は **OK** をクリックしてください。

7 **インストールを続ける** をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

8 インストールが終了したら、「再起動」をクリックして、Macintosh を再起動します。

これでエレコム マウスカスタマイザー Mac OS X 版のインストールは完了です。

再起動後、マウスの設定ができます。Dock に登録されているアイコンをクリックすると、ユーティリティが起動します。(インストールしたユーザーのみ Dock に  アイコンが登録されています。インストールしたユーザーでない場合は、「移動」→「ユーティリティ」内の[ELECOM_Mouse_custom]をダブルクリックします。

設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない、動作が不安定

→ 使用している場所の光の反射率がレーザーマウスに適していない可能性があります。レーザーマウスに対応したマウスパッドの上で本製品を使用してください。

→ スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、マウスの動作が安定するところまでレシーバーユニットをマウスに近づけてください。

→ レシーバーユニットがパソコン本体などの USB ポートに正しく接続されていない可能性があります。一度レシーバーユニットを USB ポートから取り外して、接続し直してください。

→ レシーバーユニットとマウス本体の距離が離れすぎているか、レシーバーユニットが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバーユニットの位置を調整するなどしてください。

→ 本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。(本製品同士ではチャンネル自動回避機能が動作します。)

→ 電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「電池を入れる / 交換する」(表面)を参照し、早めに新しい電池に交換してください。

※ マウスを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。

→ Windows® 標準マウスドライバーが正しくインストールされず、本製品が Windows® に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、「不明なデバイスの削除方法」を参照し、デバイス マネージャーから「不明なデバイス」を削除したあと、「Step2 レシーバーユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

→ 本製品の前にお使いになっていたマウスがメーカーオリジナルのドライバーや設定ユーティリティなどを利用していた場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバーなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については、今までお使いのマウスの説明書をお読みください。

→ ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバーと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバーを削除する必要があります。ただし、ドライバーを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

■ マウスカーソルは動くが、チルトホイールが動かない

→ スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、チルトホイールを操作しても動作しない場合があります。

「不明なデバイス」の削除方法

Windows® 標準マウスドライバーが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイス マネージャーから「不明なデバイス」を削除したあと、「Step2 レシーバーユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

以下の手順どりにドライバーを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

1 デバイスマネージャーを表示します。
• Windows® 8.1、Windows® RT 8.1 の場合

7. 画面左下のスタートボタンを右クリックし、表示されるメニューから「デバイスマネージャー」をクリックします。

• Windows® 8、Windows® RT の場合

1. スタート画面で右クリックし、「すべてのアプリ」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」の順に選択します。

2. [デバイスとプリンター]内の[デバイス マネージャー]をクリックします。

• Windows® 7、Windows Vista® の場合

1. [スタート]ボタンをクリックし、「コンピュータ」(Windows Vista® では「コンピュータ」)を右クリックします。

2. [プロパティ]をクリックします。

3. [デバイス マネージャー] (Windows Vista® では「デバイス マネージャ」)をクリックします。

• Windows® XP の場合

1. [スタート]ボタンをクリックし、「マイ コンピュータ」を右クリックします。

2. [プロパティ]をクリックします。

3. [ハードウェア]タブをクリックします。

4. [デバイスマネージャ]をクリックします。

2 [デバイス マネージャ]画面が表示されるので、「不明なデバイス」を右クリックし、「削除」をクリックします。

3 **OK** をクリックします。

4 本製品を取り外し、パソコンを再起動します。

5 [Step2 レシーバーユニットを取り付ける] (表面)からやり直します。

エレコム マウスカスタマイザー Windows® 版のアンインストール方法

エレコム マウスカスタマイザー Windows® 版を再インストールする場合は、いったんエレコム マウスカスタマイザー Windows® 版をアンインストールしてください。

管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンしてください。

すべての Windows® プログラム (アプリケーションソフト) を終了することを推奨します。

1 Windows® 8.1 の場合は、画面左下のスタートボタンを右クリックして「プログラムと機能」をクリックします。

Windows® 8 の場合は、スタート画面で右クリックして「すべてのアプリ」→「コントロールパネル」を選択します。

Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP の場合は、スタートメニューから「コントロールパネル」を選択します。

管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンしてください。

すべての Windows® プログラム (アプリケーションソフト) を終了することを推奨します。

• Windows® XP の場合
[プログラムの追加と削除]をクリックします。

3 インストールされているプログラムの一覧から「エレコム マウスカスタマイザー」を選択し、「アンインストール (Windows® 8.1/Windows® 8/Windows® 7/Windows Vista®) または 削除 (Windows® XP)」をクリックします。

Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」をクリックします。

※ 以降のアンインストールプログラムの画面は OS によって異なりますが、手順は同じです。

4 **はい(Y)** をクリックします。

アンインストールが開始されます。

5 アンインストールが終了したら、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」をチェックして、「完了」をクリックします。パソコンを再起動します。

これでアンインストールは完了です。

管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンしてください。

すべてのプログラム (アプリケーションソフト) を終了することを推奨します。

1 Dock に登録されているアイコンを削除します。

Dock から削除

Dock のアイコンを削除するには、「システム環境設定」→「アクセシビリティ」(Mac OS X 10.6.x、OS X 10.7.x の場合は「ユニバーサルアクセス」)内の「補助装置にアクセスできるようにする」にチェックが入っている必要があります。

Finder で「アプリケーションフォルダー」→「ユーティリティ」内の[ELECOM_Uninstall]をダブルクリックします。

3 **OK** をクリックします。

管理者のユーザー名とパスワードを入力して、「OK」をクリックします。

アンインストールが終了したら、「再起動」をクリックして、Macintosh を再起動します。

これでアンインストールは完了です。

基本仕様

製品名	EX-G UltimateLaser マウス
製品型番	M-XG3DLBK
対応 OS	Windows® RT-RT 8.1/Windows® 8～8.1、Windows® 7(SP1)、Windows Vista® (SP2)、Windows® XP (SP3)、Mac OS X 10.6～10.6.8、OS X 10.7～10.7.5、OS X 10.8～10.8.5、PlayStation®3 (システムソフトウェアバージョン 4.46) ※ Windows® RT～RT8.1 ではファンクションボタン、左右スクロールは使用できません。
カウント数	1600 カウント
対応インターフェイス	USB
電波周波数	2.4GHz 帯
電波方式	GFSK 方式
電波到達距離	非磁性体(木の机など): 約 10m 磁性体(鉄の机など): 約 3m ※ 弊社環境でのテスト値であり保証値ではありません。
本体寸法	W81.0 mm × D119.0 mm × H41.2 mm
レシーバーユニット寸法	W15.0 mm × D18.0 mm × H6.0 mm
動作温度 / 湿度	5℃～40℃ / ～90%RH(ただし結露なきこと)
保存温度 / 湿度	-10℃～60℃ / ～90%RH(ただし結露なきこと)
対応電池	単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形マンガン乾電池、単 3 形ニッケル水素 2 次電池
動作時間	アルカリ乾電池使用時の目安 連続動作時間: 約 95 時間 連続待機時間: 約 208 日 想定使用可能時間: 約 174 日 (1 日 8 時間のパソコン操作で 5% をマウス操作に割り当てた場合)

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL : 0570-084-465
FAX : 0570-050-012

【受付時間】
9:00～19:00
年中無休

各種機器との設定方法は えれさぼ で検索！

えれさぼ 検索

本製品は日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、お問い合わせには日本語によるサポートに限定させていただきます。

保証書について

本製品の保証書はパッケージの裏側にあります。キリトリ線に沿って切り取り、本マニュアル下部の保証書貼り付け位置に貼って、マニュアルと一緒に保管してください。

EX-G UltimateLaser マウス
M-XG3DLBK
ユーザーマニュアル
2013年9月25日 第1版
エレコム株式会社

本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。

本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。

本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。

本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品のうち、戦略物資または輸出に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく届出または発務取引許可が必要です。

Windows、Windows Vista および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の商標、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Mac および Mac ロゴは、合衆国およびその他の国々で登録されているアップル社の商標です。

PlayStation は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

その他記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。

©2013 ELECOM Co., Ltd. All Rights Reserved.
ME61-M11

切り取った保証書をこちらに糊やテープ等で貼り付けて保管してください。